

Cisco Prime Infrastructure Web フレームワーク コード クロスサイト スクリプティング脆弱性

Medium	アドバイザーID : cisco-sa-20170621-piwf1	CVE-2017-6725
m	初公開日 : 2017-06-21 16:00	
	バージョン 1.0 : Final	
	CVSSスコア : 4.7	
	回避策 : Yes	
	Cisco バグ ID : CSCuw65833 , CSCuw65837	

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Cisco Prime Infrastructure の Web フレームワーク コードの脆弱性はリモート攻撃者非認証が影響を受けたシステムの Web インターフェイスのユーザに対してクロスサイト スクリプティング (XSS) 攻撃を行なうようにする可能性があります。

脆弱性は Web サーバに通じるいくつかのパラメータの不十分な入力の検証が原因です。攻撃者はユーザを悪意のあるリンクにアクセスするように確信させることまたは User 要求を代行受信し、要求に悪意のあるコードをインジェクトすることによってこの脆弱性を不正利用する可能性があります。エクスプロイトは攻撃者が任意スクリプトコードに影響を受けたサイトという点において実行するか、または攻撃者が敏感なブラウザベースの情報にアクセスするようにことを可能にする可能性があります。

クロスサイト スクリプティング攻撃およびこれらの脆弱性を不正利用するのに使用されるメソッドについてのその他の情報に関しては Cisco によって加えられる軽減情報 [知識クロスサイト スクリプティング 脅威ベクター](#)を参照して下さい。

この脆弱性に対処する回避策はありません。

このアドバイザーは、次のリンクより確認できます。

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20170621-piwf1>

影響を受ける製品

脆弱性が存在する製品

この脆弱性は Cisco Prime Infrastructure に影響を与えます。該当するソフトウェア リリースについての情報に関しては、このアドバイザリの上で Cisco バグ ID を参照して下さい。

脆弱性が存在しない製品

他のシスコ製品において、このアドバイザリの影響を受けるものは現在確認されていません。

細部

回避策

この脆弱性に対処する回避策はありません。

固定ソフトウェア

修正済みソフトウェアリリースについての情報に関しては、このアドバイザリの上で Cisco バグ ID を参照して下さい。

ソフトウェアのアップグレードを検討する際には、[Cisco Security Advisories and Alerts ページ](#)で入手できるシスコ製品のアドバイザリを定期的に参照して、侵害を受ける可能性と完全なアップグレードソリューションを確認してください。

いずれの場合も、アップグレードするデバイスに十分なメモリがあること、および現在のハードウェアとソフトウェアの構成は新規リリースでも継続して適切なサポートが受けられることを確認してください。不明な点については、Cisco Technical Assistance Center (TAC) もしくは契約しているメンテナンス プロバイダーにお問い合わせください。

不正利用事例と公式発表

Cisco Product Security Incident Response Team (PSIRT) では、本アドバイザリに記載されている脆弱性のエクスプロイト事例やその公表を確認していません。

ソース

URL

<https://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20170621-piwf1>

改訂履歴

Version	Description	Section	Status	Date
1.0	Initial public release.		Final	2017-June-21

利用規約

本アドバイザーは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザーの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザーの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。